

岩内町地域公共交通計画 登載事業進捗状況

資料 2

1/2

施策・事業	R3年度	R4年度	R5～R7年度	令和4年度の取組状況	事業の進捗状況 (A～Eの5段階)	関連する公共交通機関					
						ノットライン	乗合タクシー	路線バス	ハイヤー・タクシー	自家用有償運送	その他
基本方針1	(1) 円山地域乗合タクシーの運行	実証運行の実施 料金・ルートの再編	本格運行の開始 毎年度利用者数や料金収入等の推移を検証	当初は、令和4年度の本格運行に向け検討を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響や比較的用户の多かった停留所の廃止等により、適正なデータ収集ができなかったことから、令和4年度も実証運行を継続し、令和5年6月から本格運行を開始することとなった。	C		○				
	(2) 町内路線網の検証・再編の実施	前回計画から継続して実施 毎年、町内路線全体の路線網の検証・再編を行う		町内路線全体の路線網の検証・再編を継続して実施している。	B	○	○				
	(3) クロスセクター効果の検証	いわない循環バス「ノットライン」について検証	円山地域乗合タクシー、路線バス、ハイヤー・タクシー等について検証		令和4年度については、ノットラインを含め、交通機関全体の検証することができなかったことから、令和5年度以降に実施するよう、引き続き検討を行う。	D	○	○	○	○	○
	(4) アンケートBOXの設置	前回計画から継続して実施 月に1回程度用紙の回収を行う		月に1回程度用紙の回収を行い、アンケートの取りまとめを行った。	B						
	(5) 地域公共交通維持・改善に向けた新たな調査票の検討	岩内町地域公共交通活性化協議会にて新たな調査票について検討・作成	各停留所等に設置 随時、調査項目を検討		新たな調査票の検討・作成について、引き続き検討を行う。	C					
基本方針2	(1) 「バス・タク乗ってガイド(仮称)」の作成	コンテンツの整理 ガイドの作成・広報周知	町HPにて周知、バスターミナル等に設置 ダイヤの変更等あれば、随時修正を行う	町内公共交通に関する情報を網羅的に示した、いわない公共交通マップ「いわナビ」を作成し、バスターミナルや公共機関等へ設置し、広報周知を図った。	A	○	○	○	○	○	○
	(2) 「バス・タクチャレンジライド!!(仮称)」等の実施	各関係機関との連絡調整	年1回程度実施、毎年度継続して行う	関係機関であるニセコバス(株)から、他町村の事例について情報提供をいただき、教育委員会と連携の上、令和5年度からの実施に向け調整を図った。	C	○	○	○			
	(3) 有料広告の設置	情報収集(有料広告実施済みの町村等) 有料広告実施事業者の選定、依頼作業	いわない循環バス「ノットライン」車内に設置		有料広告設置に向けた情報収集を引き続き実施する。	C	○				
	(4) キャッシュレス決済の導入	各関係事業者と検討・予算協議	町内全公共交通事業者にて設置開始		令和4年度については、予算協議等実施できなかったことから、令和5年度以降に実施するよう、引き続き検討を行う。	C	○	○	○	○	
	(5) 運転免許返納者に対する取組の検討	各種取り組みの実施 結果は毎年度検証を行う			令和3年8月から事業開始し、交付実績は令和4年12月末時点で59件となっている。(R4年度:35件、R5年度:24件)	B	○	○	○	○	○
	(6) ノーカーデーの推進	北海道の実施期間とあわせて実施。 広報誌や町HP等を活用して、町民に対して広く周知する			岩内町役場職員に対する周知は実施したことから、令和5年度以降は、広報誌での周知を実施するよう取組を進める。	C	○	○	○	○	○

施策・事業	R3年度	R4年度	R5～R7年度	令和4年度の取組状況	事業の進捗状況 (A～Eの5段階)	関連する公共交通機関					
						ノッタ ライン	乗合 タクシー	路線バス	ハイ ヤー・ タクシー	自家用 有償運送	その他
基本方針3	(1) 商店街連合会との連携	前回計画から継続して実施 円山地域乗合タクシーが本格運行のタイミングで回数券を販売		ノッタライン回数券販売時におけるたら丸ポイントカードとの連携は継続して行っているが、円山地域乗合タクシーについては、本格稼働後に連携する見込みである。	C	○	○	○	○		
	(2) 観光面におけるハイヤー・タクシーとの連携	コンテンツの整理 ガイドの作成	ガイドを観光施設に設置	町内公共交通に関する情報を網羅的に示した、いわない公共交通マップ「いわナビ」を作成し、バスターミナルや公共機関、宿泊施設等へ設置し、広報周知を図った。	A		○		○		
	(3) 既存施設との連携	前回計画から継続して実施 いわない循環バス「ノッタライン」等町内公共交通の停留所を選定する際、各施設と連携		各施設との連携を継続して行った。	B	○	○				
	(4) 地域公共交通活性化基金の設置	基金条例の設置 随時基金の受け入れ		令和3年3月に条例を設置済み。 令和4年度においては基金積み立て実績は0件となった。	C	○	○	○	○	○	○
基本方針4	(1) 路線維持のための運行補助の実施	前回計画から継続して実施 運行補助を含め、新たな交通体系（ダウンサイジング等）についても検討		路線維持のための運行補助を継続して行った。	B			○			
	(2) 公共交通による市町村情報の発信	前回計画から継続して実施 いわない循環バス「ノッタライン」車内にて継続的に情報発信を行う		新型コロナワクチン集団接種の呼びかけなど、継続して情報発信を行った。	B	○					

【評価基準】

- A…順調に推移している
- B…ほぼ順調に推移している
- C…やや遅延している
- D…遅延している
- E…達成困難